



千葉社会保険病院広報誌

なのはな



広報誌「なのはな」

第14号

2009年12月1日

千葉社会保険病院

基本理念

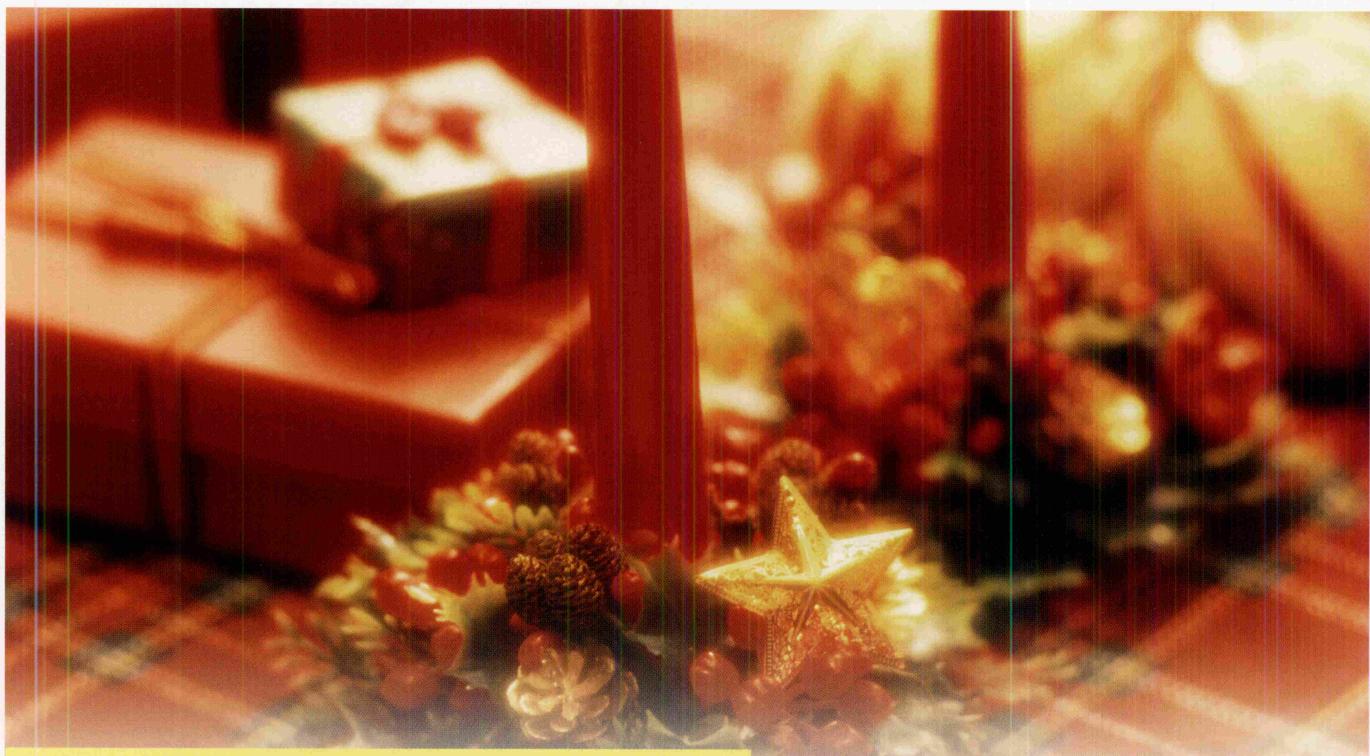
1 思いやりのある医療

2 安全で良質な医療

3 チームワークのよい医療

基本方針

- ◎患者さまの人権を尊重するとともに、病状を的確に把握し、心のケアに努めます。
- ◎患者さまから信頼され満足していただくために、『正確』『迅速』『親切』を基本とします。
- ◎職員は、患者さまのニーズに応え安全な医療を提供するため、常に新しい知識と技術を習得します。
- ◎病診・病々連携を実施し、地域医療の推進を図り、効率的かつ良質な医療を提供します。
- ◎患者さまへ医療行為にあたり、職種間の連携をスムーズにし、職員全員が一丸となって取り組みます。



社会保険病院は公的病院として存続

平成21年8月30日（日）の衆議院総選挙で民主党が歴史に残る圧勝を致しました。その後の民主党連立政権は斬新的な政策を打ち出していますが、景気低迷による税収の伸び悩みで前政権と同じように国債に頼らざるを得ないところが心配です。

社会保険病院は前政権では年金・健康保険福祉施設整理機構に出資され売却を危ぶまれる運命にありましたが、政権が変わったとたん、公的病院として全病院を残すと長妻厚生労働大臣が明言しました。厚生年金

千葉社会保険病院 病院長 西島 浩

病院・船員保険病院と共に独立行政法人地域医療機能推進機構に組み入れられることになりました。売却の危ぶみから公的病院として存続が決まり社会保険病院職員は皆、安堵しているところであります。

当院の産婦人科が4年半振りの9月に再開できました。11月25日に待望の赤ちゃんが元気良く産声を上げてくれました。久しぶりの産声でしたので感激しました。二人のベテラン男性医師が勤務していますので、今後、当院のご利用を宜しくお願い致します。

産婦人科紹介

平成16年5月以降休診していましたが、平成21年10月より常勤医師2名で産婦人科を再開しました。

産科 4D超音波診断装置を用いて妊婦健診を行っており、ご希望の方は当院で用意したDVDに録画してお持ち帰りいただけます。分娩は自然分娩を基本としますが、ご事情で計画分娩を希望する方も対応します。産婦人科休診中も行っていた助産師外来(母乳外来)ですが、今後も引き続き行います。

婦人科 当院では従来より健康管理センターを併設し、産婦人科休診中も子宮がん検診を実施してまいりましたが、産婦人科再開に伴い精密検査もできるようになりました。月経異常、婦人科感染症、更年期障害、性器脱、ホルモン療法、避妊法(経口低用量ピル、子宮内避妊具、緊急避妊)、不妊症(排卵誘発、人工授精)などを広く扱います。子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣のう腫などの腫瘍性疾患も扱います。



担当医プロフィール

寺田 夏樹 産婦人科主任部長

・日本産科婦人科学会産婦人科専門医
・母体保護法指定医師

堀 正行 産婦人科部長

・日本産科婦人科学会産婦人科専門医
・母体保護法指定医師

6月に『マンモグラフィ検診施設画像認定』を取得しました

日本人女性の乳がん罹患率・死亡率は年々増加しております。しかし早期に発見し治療を受ければ予後は良好であります。早期発見・治療するためには乳がん検診を受診されることが重要です。乳がん検診は、視触診方式からマンモグラフィ併用方式に改められ、マンモグラフィは早期乳がんを発見するのに非常に有効な検査です。早期乳がんは非常に微細(1mm以下)であり陰影を鮮明に描出することが要求されます。

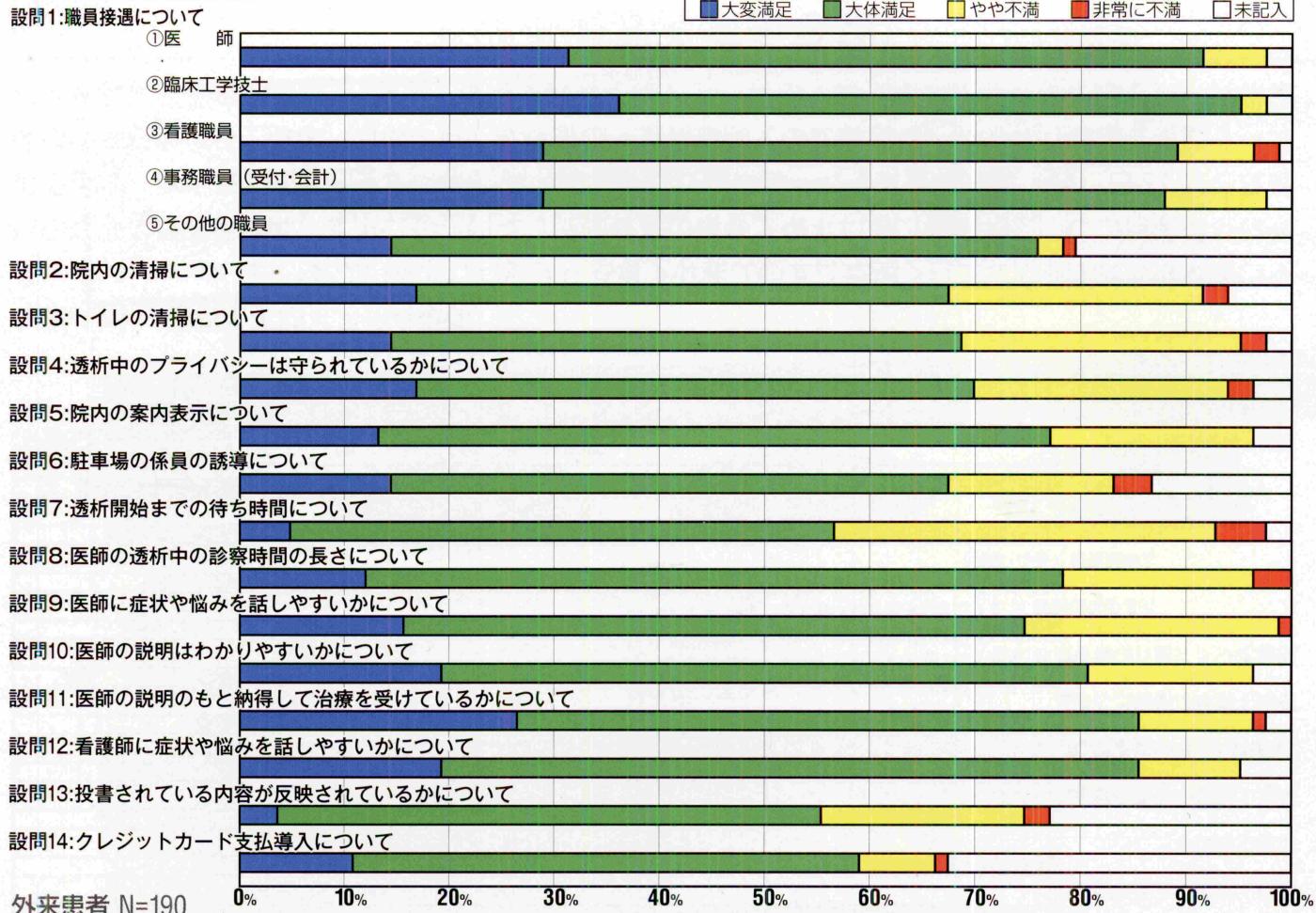
この度、当院はマンモグラフィ検診精度管理中央委員会施設画像評価委員会での厳しい審査の結果、検診精度管理の線量・画質基準を満たす『マンモグラフィ検診施設画像』として認定されました。

当院にはより精度の高いマンモグラフィ検査を行うために同じくマンモグラフィ精度管理中央委員会が定めた認定放射線技師が現在6名在籍しております。撮影された写真は臨床・病理・読影に幅広い知識を有するマンモグラフィ読影認定医師(4名)が、読影しております。

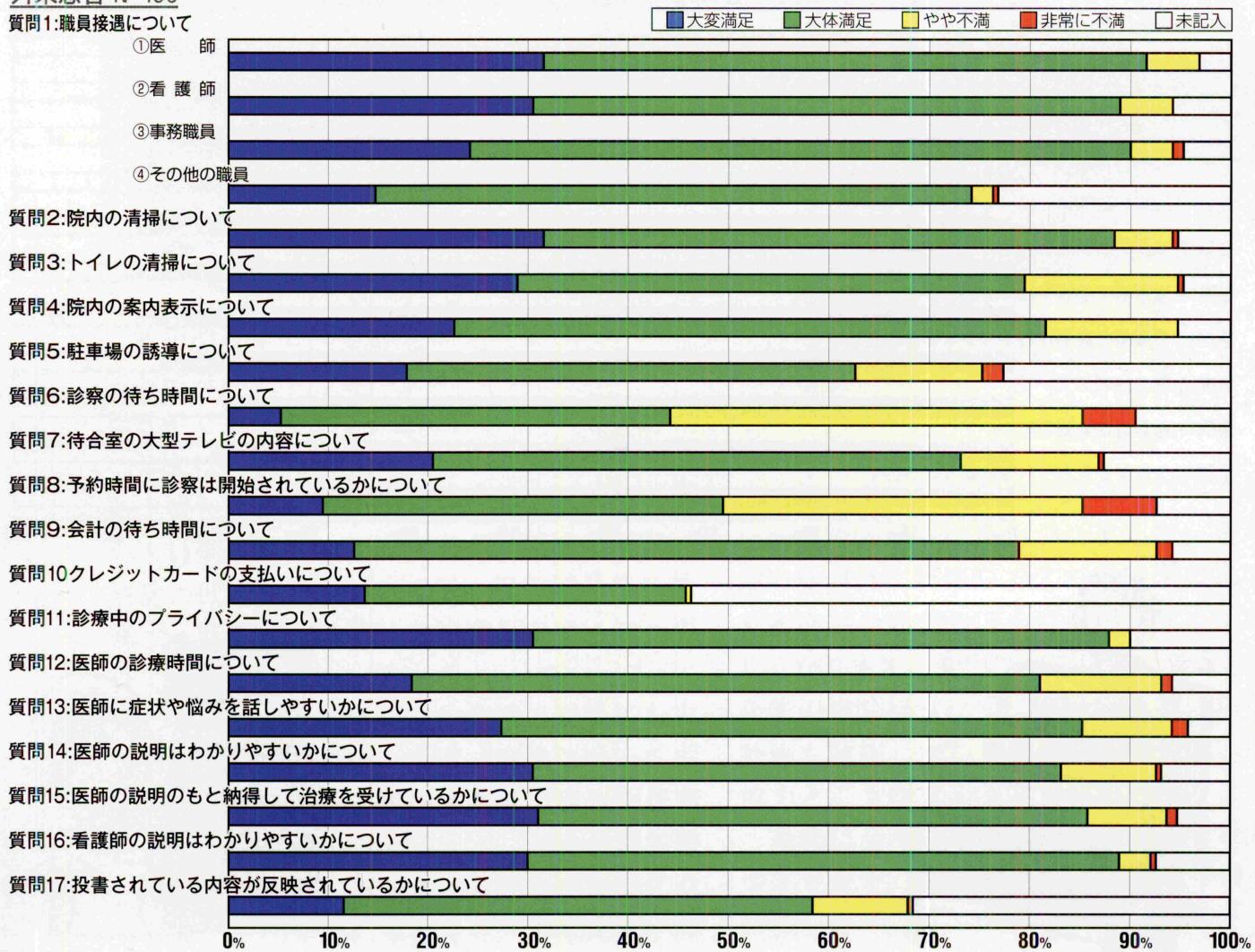
今回の施設認定取得に満足せずマンモグラフィ装置の精度維持・撮影技術・読影の向上を目指し、安全で良質な医療を受けていただけるように日々努力していきたいと考えております。

放射線部 鈴木利明 (検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師)

透析センター患者 N=83



外来患者 N=190

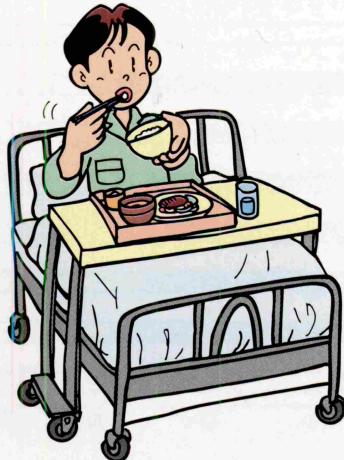
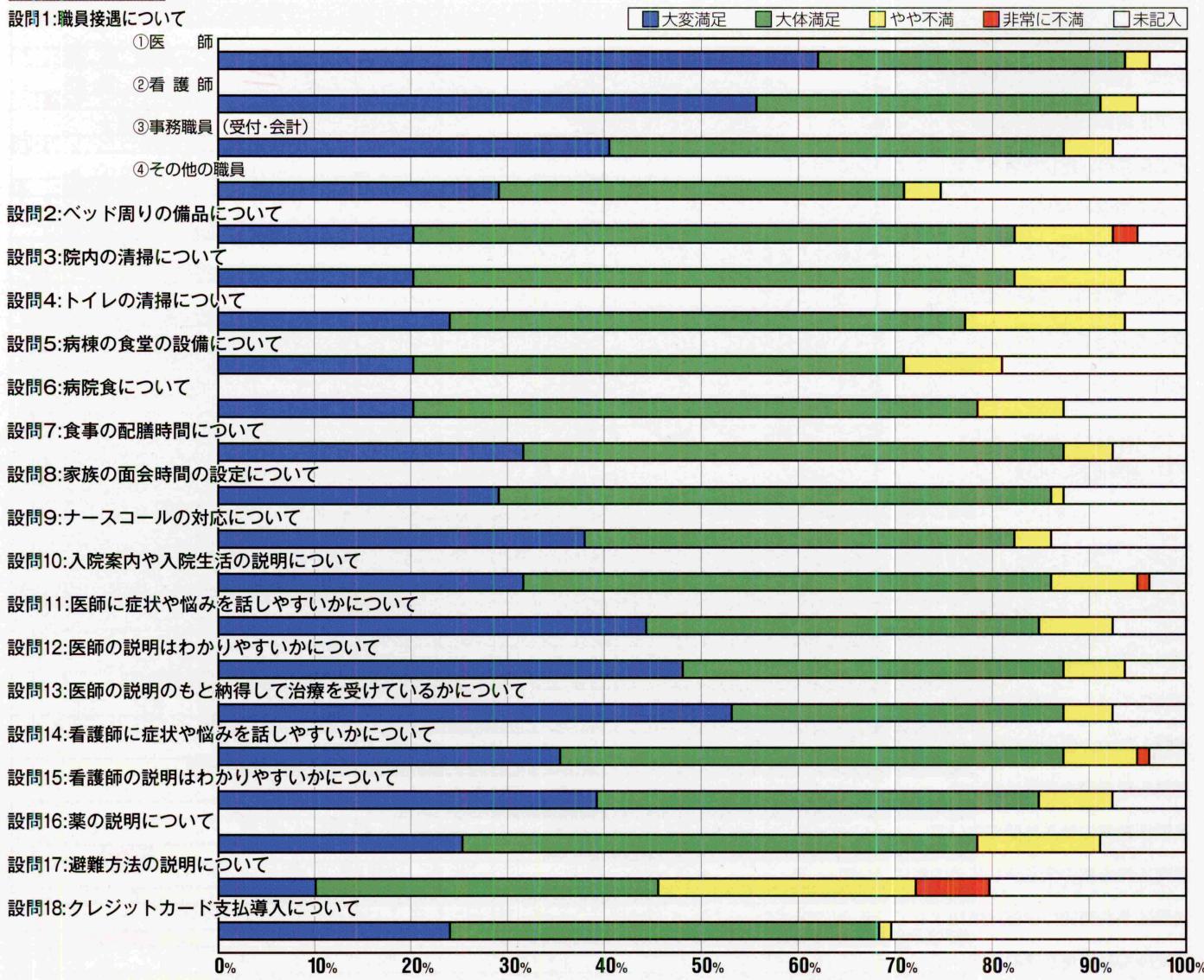


患者様満足度調査結果

患者サービス向上委員会では患者様へのサービス向上を図るため、平成21年度の患者様満足度アンケート調査を実施しました。各病棟での入院患者様への調査を7月上旬に、また、外来患者様への調査を7月17日（金）に実施しました。患者様にご指摘頂いた「やや不満」「非常に不満」の頻度が高かった項目については真摯に受け止めて今後の改善を図りたいと思います。病院各部署の協力のもとに具体的な対策を立てて行く所存ですので温かく見守って頂ければ幸いです。

患者サービス向上委員会 木村 邦夫

入院患者 N-79



地域医療連携 診療所のご紹介

医療機関名 ● 医療法人社団クレド さとうクリニック
院長名 ● 佐藤 純彦
住所 ● 千葉市若葉区若松町2138-1
電話 ● 043-214-3109
診療科目 ● 内科・外科・血液透析



当クリニックは、平成18年4月に開業した外来透析治療を中心とした診療所です。種々の合併症に対する精査や入院加療に対して千葉社会保険病院の先生方、スタッフの方々にはいつも大変お世話になっており、心から感謝申し上げます。また、私自身も週1日の外来診療を行わせていただいており、重ねて御礼申し上げます。透析患者さんは週3日透析に通うわけですが、透析中の心身のケアはもちろん、透析治療を無理なく日常生活さらに社会生活の中に組み込み、より快適な生活を送っていただくことをお手伝いする場でありたいと願っております。そして地域の皆様により良い、より安全な医療を提供できるよう努力して参りたいと思っております。

今後ともお世話になることが多いあると思いますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新型インフルエンザ（パンデミックインフルエンザ A/H1N1 2009）について

感染対策チーム 中村 広志

これまで新型インフルエンザといえば高病原性鳥インフルエンザ(A/H5N1)のヒトへの感染・流行が危惧されていました。このH5N1はこれまでに445人に感染し263人の死亡(致死率約60%)が報告されています(12月11日現在)。鳥インフルエンザH5N1がどの程度の病原性(病気の重症度)を保ったまま、どの程度ヒトの間に流行するかが問題でした。

現在流行しているパンデミックインフルエンザA/H1N1の病原性はそれほど高くなく、感染の確認された94512人中死亡は420人で致死率0.45%といわれています(季節性インフルエンザの致死率は0.05%)。実際には病状が軽く診断を受けていない人が多いため致死率はさらに低いと考えられます。

慢性呼吸器疾患・慢性心疾患・糖尿病などの代謝性疾患・腎機能障害・ステロイド内服などによる免疫機能不全の持病がある方々のなかには、治療の経過や管理の状況によりインフルエンザに感染すると重症化する危険が高いと判断される方がいます。手洗い・うがい・人混みを避ける・マスクの着用などをして感染しないように注意してください。さらに、妊婦・乳幼児・高齢者についてもインフルエンザが重症化することがあると報告されていますので感染予防を心がけましょう。上記の方は、医療機関でのワクチン接種の準備が整いしだい積極的にワクチン接種を受けましょう。

また、健康な方でも次のような症状を認めるときは、あらかじめ医療機関に連絡をしてからすぐに受診しましょう。

- [小児] 呼吸が速い、息苦しそうにしている・顔色が悪い(土気色、青白いなど)・嘔吐や下痢が続いている・落ち着きがない、遊ばない、反応が鈍い・症状が長引いて悪化してきた
- [大人] 呼吸困難または息切れがある・胸の痛みが続いている・嘔吐や下痢が続いている・3日以上発熱が続いている・症状が長引いて悪化してきた。

